

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第9週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (9週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例。侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	咳、痰
4類	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱 ワクチン接種歴不明
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症 ワクチン接種歴不明

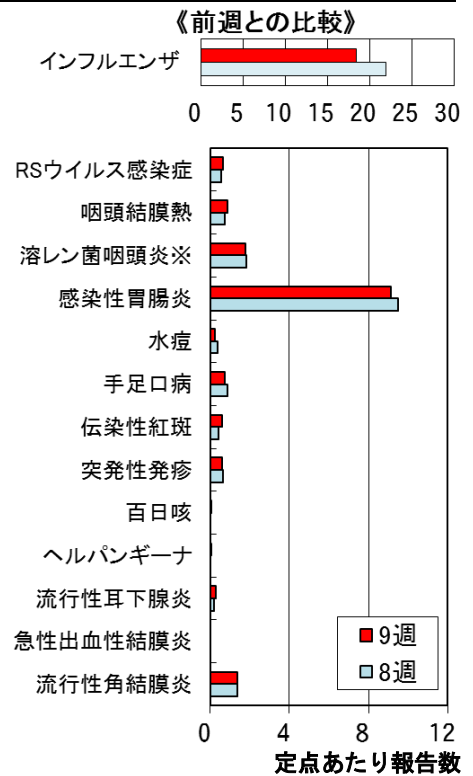
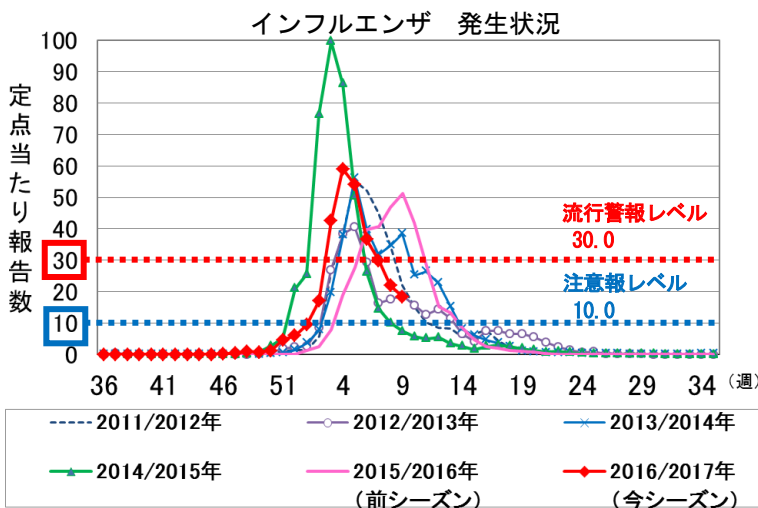
### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,637 人 (定点当たり 35.3) で、前週比 91%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

報告数は 1,087 人 (18.4) で、前週比 84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (25.6) の約 0.7 倍であった。日南 (33.8)、中央 (27.5)、都城 (24.4) 保健所からの報告が多く、年齢別は 5~9 歳が全体の約 3 割を占めた。



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

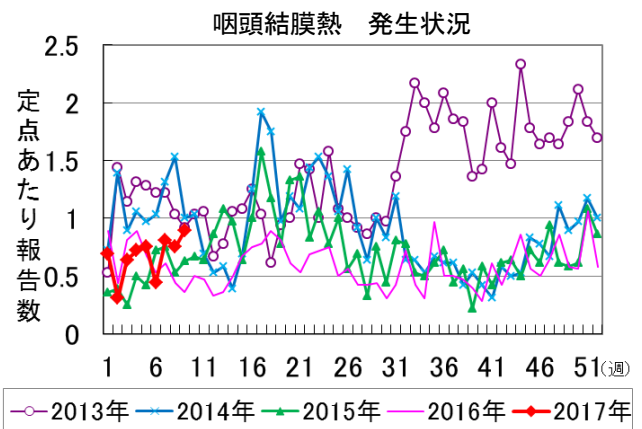
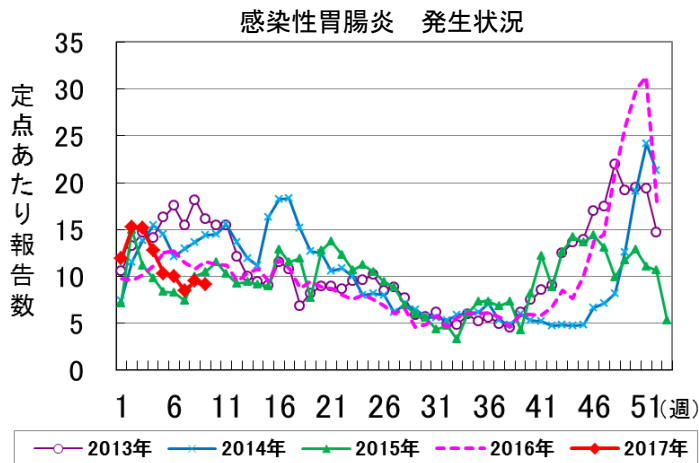
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は 329 人 (9.1) で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\* (12.4) の約 0.7 倍であった。小林 (20.0)、日南 (13.7)、高千穂 (13.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~4 歳が全体の約半数を占めた。

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は 32 人 (0.89) で、前週比 119%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.77) の約 1.2 倍であった。日南 (4.3)、高千穂 (4.0)、延岡 (2.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~3 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値



★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：小林保健所から1例報告があった。70歳代であった。
- 感染性胃腸炎（ロタウイルス）：日向保健所から2例報告があった。  
0～4歳で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(15.1)
都城	インフルエンザ(24.4)
延岡	インフルエンザ(22.3)
日南	インフルエンザ(33.8)、咽頭結膜熱(4.3)
小林	インフルエンザ(12.8)、感染性胃腸炎(20.0)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(12.5)、咽頭結膜熱(4.0)
日向	インフルエンザ(14.5)
中央	インフルエンザ(27.5)、伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 8 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	342 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	11 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	2 例				
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	5 例	デング熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	15 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	17 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	20 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	39 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	75 例	麻疹	5 例

麻疹の報告数は5例で前週比約0.8倍と減少した。三重県、兵庫県、広島県(各1例)、九州地方からの報告は福岡県(2例)であった。年齢別で10歳未満及び30歳代が各2例ずつ、40歳代が1例であった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比79%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は83,714人(16.9)で前週比71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(23.3)の約0.7倍であった。福井県(26.3)、長野県(26.1)、長崎県(25.1)からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約3割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は1,156人(0.37)で前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.30)の約1.2倍であった。石川県(1.1)、宮崎県(0.75)、佐賀県(0.74)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。 \* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第9週(2月27日～3月5日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1293	1087	241	244	156	169	64	46	25	87	55
	定点あたり	21.92	18.42	15.06	24.40	22.29	33.80	12.80	7.67	12.50	14.50	27.50
RSウイルス 感染症	報告数	20	23	9	4	2	1		5		2	
	定点あたり	0.56	0.64	0.90	0.67	0.50	0.33	0.00	1.25	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	32	3	2	8	13			4	2	
	定点あたり	0.75	0.89	0.30	0.33	2.00	4.33	0.00	0.00	4.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	66	64	33	3	6	11	2	3	2		4
	定点あたり	1.83	1.78	3.30	0.50	1.50	3.67	0.67	0.75	2.00	0.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	342	329	64	54	32	41	60	17	13	42	6
	定点あたり	9.50	9.14	6.40	9.00	8.00	13.67	20.00	4.25	13.00	10.50	6.00
水痘	報告数	14	8	2	3		1	1	1			
	定点あたり	0.39	0.22	0.20	0.50	0.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	32	26	9	10			6				1
	定点あたり	0.89	0.72	0.90	1.67	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	15	22	4	2	1	2	2	1		7	3
	定点あたり	0.42	0.61	0.40	0.33	0.25	0.67	0.67	0.25	0.00	1.75	3.00
突発性発しん	報告数	24	22	8	5	2	2	1			3	1
	定点あたり	0.67	0.61	0.80	0.83	0.50	0.67	0.33	0.00	0.00	0.75	1.00
百日咳	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		3	2	1							
	定点あたり	0.00	0.08	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	10		5			1	4			
	定点あたり	0.19	0.28	0.00	0.83	0.00	0.00	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	7	7								
	定点あたり	1.40	1.40	3.50	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	1					1				
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	2								2	
	定点あたり	0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～9週)

2類感染症	結核	47例(1)			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	5例	レジオネラ症
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	8例(1)	梅毒	3例	

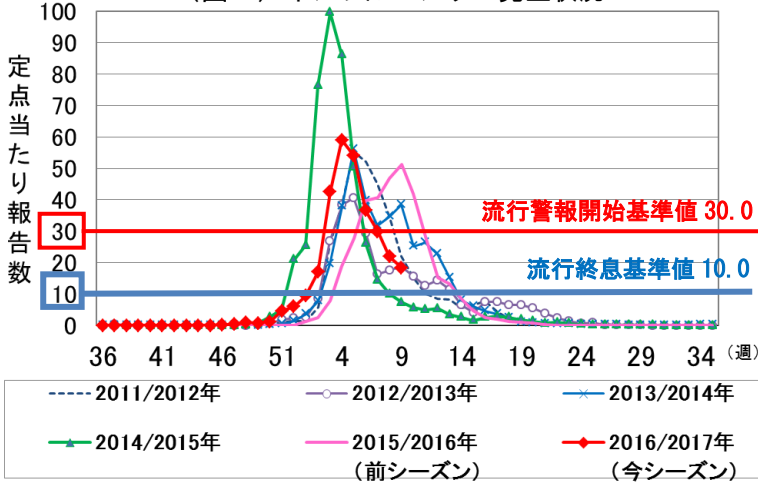
( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報 《県内第9週、全国第8週（再掲）》

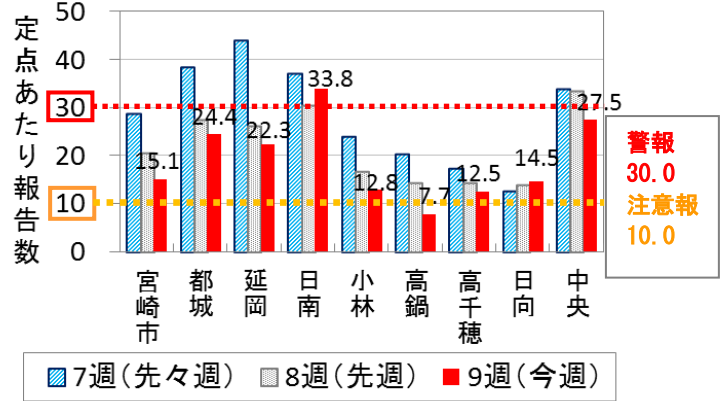
## □ 県内第9週インフルエンザ発生動向

2017年2月27日～3月5日までの1週間で1,087人（定点あたり18.4）の報告があった。前週の約0.8倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*（25.6）の約0.7倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が28%、10-14歳が16%、15-19歳が3%、20-59歳が19%、60歳以上が9%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



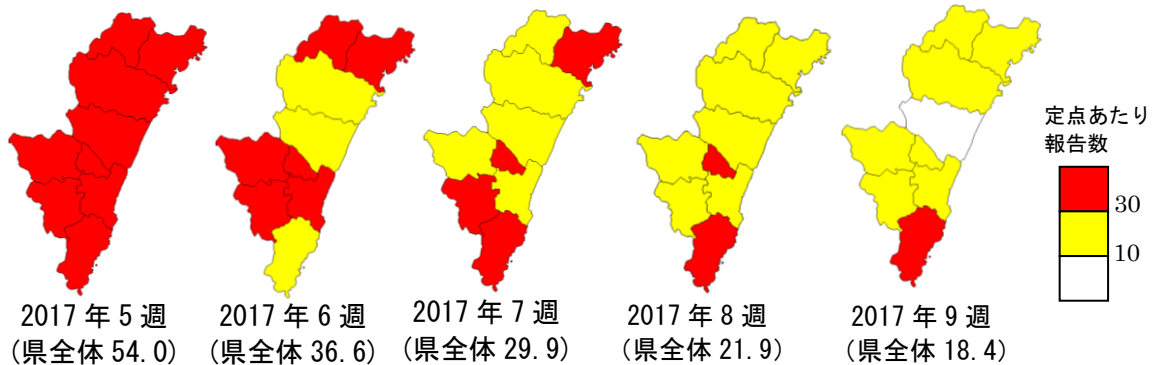
（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）



（図3）年齢群別割合の推移（2017年第5週～第9週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
5週 3,187人	22%	28%	22%	6%	16%	6%
6週 2,162人	26%	29%	17%	5%	16%	7%
7週 1,761人	25%	27%	15%	5%	19%	9%
8週 1,293人	23%	29%	17%	4%	20%	7%
9週 1,087人	25%	28%	16%	3%	19%	9%

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第5週～第9週



## □ 全国第8週インフルエンザ発生動向

2017年2月20日～2月26日までの1週間で83,714人（16.9）で前週比71%と減少した。福井県（26.3）、長野県（26.1）、長崎県（25.1）からの報告が多い。年齢別では5歳未満が全体の21%、5-9歳が28%、10-14歳が16%、15-19歳が5%、20-59歳が21%、60歳以上が9%であった。